

建設業経理検定制度に関する提言書(概要版)

基本的な考え方

○建設業経理検定制度の創設時から建設業会計を取り巻く環境が変化していることや、今後、AIを含めたICT技術の進展が予想される中で、建設企業の経営基盤強化を担う者として、建設業経理士及び建設業経理事務士に求められる知識や役割等について、整理・検討し、より時代のニーズに合った資格の在り方や登録建設業経理士の活躍を支援するために必要な情報等について検討し提言を行うこととする。

提言

提言:1 建設業経理士・建設業経理事務士の確保
⇒ 都道府県建設業協会との連携強化
(女性部会との連携等)
⇒ 特別研修(4級・3級)の強化
⇒ 2級準備講座実施の側面支援等

提言:2 建設業経理士の能力維持向上
⇒ 登録経理講習の更なる充実化
⇒ 変化する会計基準への対応
(収益認識に関する会計基準への対応等)
⇒ 最新の法令改正への対応等

提言:3 建設業経理検定試験の出題範囲の見直し
⇒ 時代のニーズに合った試験制度になるよう
出題範囲の定期的見直し

提言:4 登録経理講習の普及促進
⇒ 登録建設業経理士制度の強化
⇒ 登録経理講習の受講環境改善等
(web環境の構築等)

提言:5 中小建設業会計の調査研究事業の継続化
⇒ 中小建設企業の会計処理の実態把握
⇒ 中小建設企業の会計処理の課題分析等
⇒ (一財)建設産業経理研究機構等との連携強化